

地域共生社会の実現に向けた 様々な主体との連携 ～居場所づくりの実践から～



宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会
副会長 荒木裕美

(NPO法人ベビースマイル石巻 代表理事
石巻市子どもセンター らいつ 館長)

プロフィール

- ・仙台育ち。宮城学院女子大学日本文学科卒。
結婚を機に石巻へ。

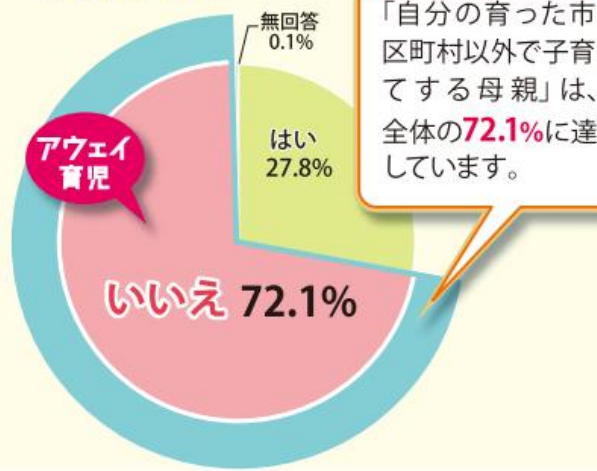
なれない地域での妊娠期～産後の悩み・不安・ストレス

- ・H21年 第一子出産 妊娠中から産科で行われた
ヨガなどのサロンに参加することで、産後にもつながる仲間が出来た。
- ・石巻での自分の居場所・共通の仲間とつながったことで、
本来の自分の**元気**を取り戻し、**石巻への興味・関心**が出てきた。
- ・石巻の子育てママさん数名がボランティアで運営している「親子ビクス」の会に参加。
当事者の必要な居場所を当事者グループで自主的に活動している。
- ・**参加者**から、場をつくる側への興味 ⇒ **運営側**に参加 ⇒ H23. 3月東日本大震災



安心して過ごせる居場所

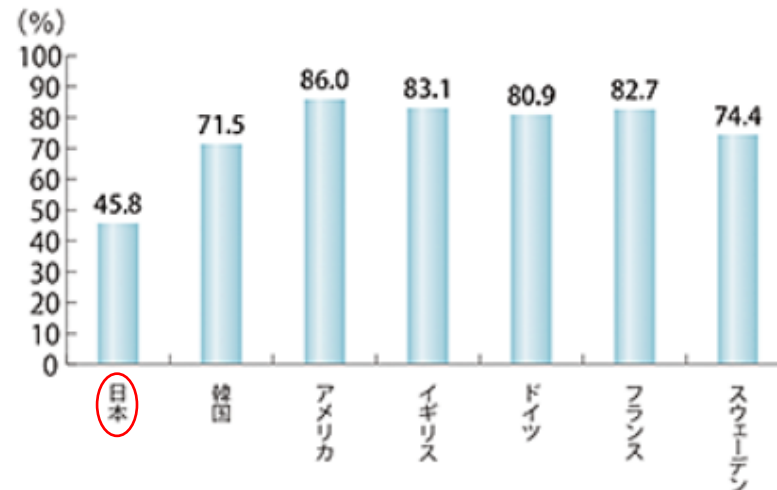
Q. あなたが育った市区町村で、現在子育てをしていますか？



NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
「地域子育て支援拠点事業に関するアンケート調査2015」

- 諸外国と比べて、自己を肯定的に捉えている者の割合が低い。

図表1 自分自身に満足している



内閣府HP 特集 今を生きる若者の意識～国際比較からみえてくるもの～

無力感

自分は
わがまま？

孤独

自信が
ない

ひとり
じゃない

身近な情報・
アドバイス

自分の
時間・
空間

共感

声にし
ていい
んだ

ありの
まま

地域
もっと
知りたい

他の人
にも伝
えたい

やって
みよう
かな

楽しい

変えら
れる

活動の原点 東日本大震災

仲間やこれからの命が犠牲に
命の大切さ
くやしさ

日々の幸せ 生きていること
命を産み育てる力

石巻を子どもの笑顔でいっぱい！
子どもをたくさん産み育てる地域に！



災害で気づいた妊娠期・乳幼児子育ての孤立

オムツ・ミルク
など乳幼児の
物資が不足

産科が被災
どこで産めば
いいの

赤ちゃんやママ
に特化して
活動する団体は
ないの・・・？

情報が届かない
のは産前産後は
地域から孤立し
ている？

すぐに同じような
災害がくるかも！
その時今より状況
を良くしたい！

まちを作りなお
すなら、
私たちの声も聞
いて欲しい

私たちから
「ここにいます」
と手をあげて
見つけてもらおう

みんなでつな
がって声を大き
くしなきゃ！
団体を作って
見える化！

復興まちづくりと子育て

子どもは
地域を元気
にする・・・

笑顔

命を
産み育てる
若い世代

命の力

私たち
地域復興の
鍵を握って
いる！？

私たちが
元気になら
なくちゃ

子育て
世代

仲間と
つながって
元気になっ
た経験

つながり

つながる場
を作ること
ならできる

居場所



写真提供：辺見清二



写真提供：辺見清二

写真提供：辺見清二さん

☆当事者団体をつくる ～命を守る。地域とつながる子ども・子育て支援～

- 任意団体立ち上げ（H23.5）1人で・・・
- NPO法人へ（H24.4）仲間とともに・・・
 - ・自分たちの環境は自分たちで作る
（復興まちづくりに声を届ける）
 - ・妊婦・乳幼児に特化したネットワーク
 - ・平常時につながることで、緊急時に備える
 - ・孤立を防ぎ、虐待、産後うつを未然に防ぐ
 - ・妊娠期～子育ての切れ目ない支援



2011年5月～子育てサロンを開始

☆地域の子ども・子育ての居場所、遊び場 つながろう！



居場所・・・復興でまちも人も忙しい中、子どもたちが日常を感じられる場所が欲しかった。ほっとできる場所が欲しかった。

情報収集の場・・・「情報」をつかむことが、子どもの命を守ることを知った経験から、情報を得るためにもつながっておかなくちゃ！

ながら相談の場・・・子どもを遊ばせながらだからその気軽さで、お互いに相談。他の人の子育て経験から学ぶ。助言やアドバイスではなく、共感や失敗談がちょうどいい！



物資・・・受け入れ配布



子育て中の仲間と、自分たちが必要な子育て環境をつくる。 妊娠期～0～18才未満の子どもを育てるかたに切れ目なく寄り添う活動

●マタニティ・子育てひろば「スマイル」



居場所

●出張ひろば



情報収集
・発信

地域の顔の
見えるつながり

●石巻市委託ファミリーサポート事業



●父親支援



●家庭訪問型子育て支援ホームスタート



●いっしょissyō

(子育て世代包括支援センター)

相談



●産後ケア事業ママファースト



助産師
保健師
関係機関
との連携

子育てのつながりは防災



ささえあえる人を増やそう！ ～制度のすきまをつなぐ 顔が見える 人と人のつながりで～

蛇田ささえあい会議 生活支援体制整備事業

地域の何気ない日常について対話を重ねる会議。
ここでは肩書を置いて、地域の未来を考える。
食を通じたつながりづくりを中心に、
乳幼児家庭（嫁世代）と姑世代がつながりを広げる
機会を作っている。



嫁には教えないの。
若いお母さんたち
に料理を通して
生活の知恵を
伝授したいな。

蛇田地区住民協議会

市と地域が協力する市民協働のまちづくりの一環。
地域内の横のつながりを作り、住み続けられるまちづくり。
区長会と多様な団体で組織される。

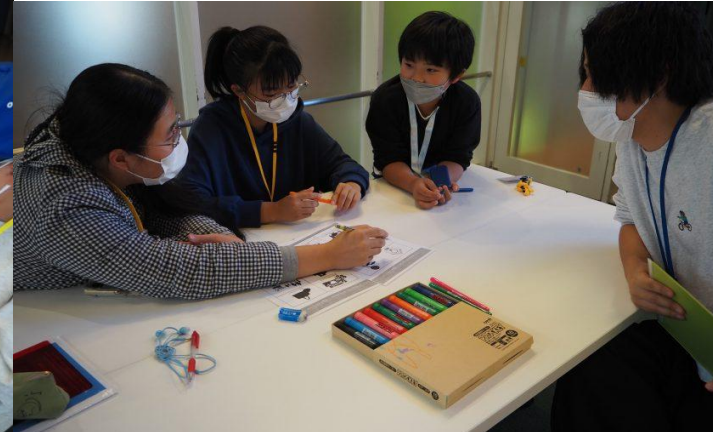
「子どもは地域の宝」出産お祝い事業や多世代交流で参画



あかちゃんのおしりふきを
お渡し

民生委員さんに協
力いただき、地域
の頼れるかたをし
知ってもらう





石巻市子どもセンター らいつ ～こどもたちによるまちづくり～



0～18歳未満の子どもが 自由に過ごし遊びを通して育つ



【宮城県石巻市】

2022年人口137,027人
年間出生数 715人

児童館数 1館



【らいつ年間利用数】

自由来館 約27,000人
(平日 約50名
土日等 約80～100名)

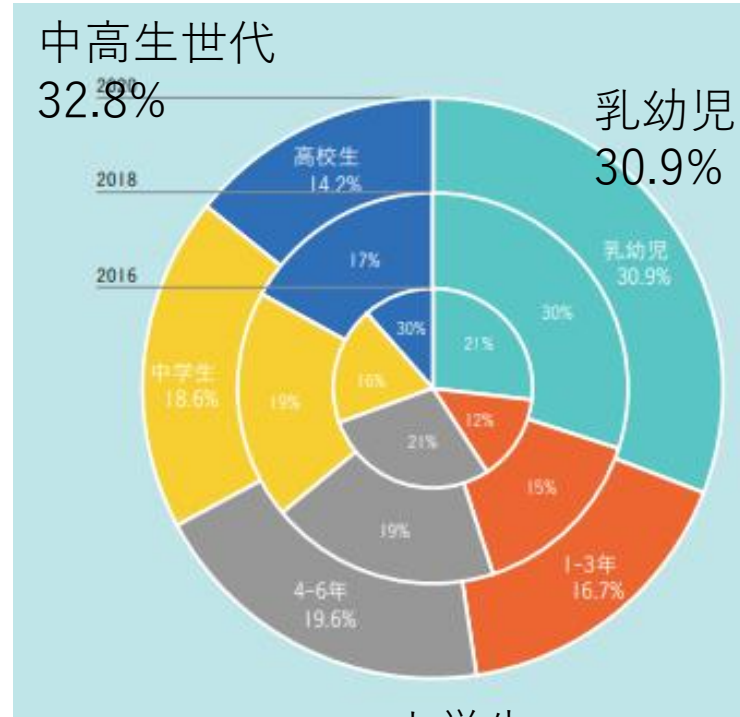
石巻駅から徒歩7分
商店街の一角

開館時間：午前9時30分～午後7時

※小学生は午後5時まで

休館日：祝日、第1・3木曜日、12/29～1/3

【一般来館者年齢別割合】



「こどもまんなか」 命をぐるぐる見守り続ける児童館



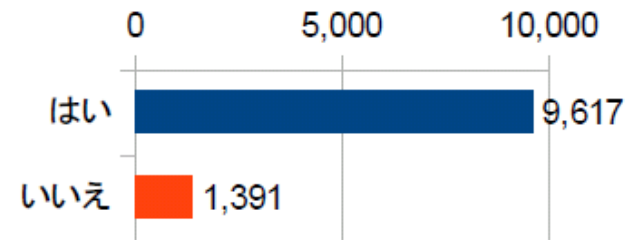
らいつの建設まで～2011.3 東日本大震災～

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが2011年5月～6月にかけて、岩手・宮城県で小学4年生～高校3年生を対象に「復興まちづくりアンケート調査」を行いました。その結果、約1万1千人のうち約9割の子どもが「まちのために何かしたい」と回答。

これらの子どもの声を受けて、2011年6月下旬より「子どもまちづくりクラブ」の活動を開始。

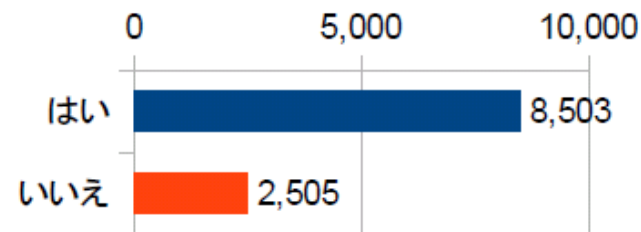
Q2 あなたは自分のまちのために、何かしたいと思いますか？

	総数	比率
はい	9,617	87.4%
いいえ	1,391	12.6%
全体	11,008	100%



Q3 あなたは自分のまちをよくするために、人と話しをしてみたいですか？

	総数	比率
はい	8,503	77.2%
いいえ	2,505	22.8%
全体	11,008	100%



夢のまちプラン～自分たちのまちがこんなまちになったらいいな～白地図にみんなの想いを込めながら「石巻の老若男女が集まって、他の世代・学校の人たちとも交流できる場所がこれまでにありませんでした。だから、みんなが楽しめてゆったりできる場所が欲しい」

「元々あったライブハウスがなくなってしまったので、ライブが観られて、自分たちも自由に音楽を表現できる場所がほしい」

→子どもたちの声を市に提案し、児童館としてアイデアを実現したのが「らいつ」

基本理念

子どもの権利を柱に、子ども参加で

子どもの権利

- 1989年に国連で採択

日本では1994年に批准

- 主に4つの柱

生きる権利 育つ権利

守られる権利 参加する権利

保護する対象 + 参加する主体

子どもの権利の基本原則

第2条：差別の禁止

第3条：子どもの最善の利益

第6条：生存発達の権利

第12条：意見が聴かれる権利

1. 締約国は自己の意見を形成する能力のある児童がその児童に影響を及ぼすすべての事項について自由に自己の意見を表明する権利を確保する。この場合において、児童の意見はその児童の年齢および成熟度に従って相応に考慮されるものとする。

子どもにとって何が一番いいのか知っているのは・・・

子どもとともに
つくり続ける児童館

子どもセンター運営会議

子どもセンターの運営について子どもとおとなで話し合い、**最終決定**する場

おとな委員 5 名



子ども委員 5 名
(子ども会議+まちづくりクラブ)

年 3 回開催

おとな委員は地域から選出

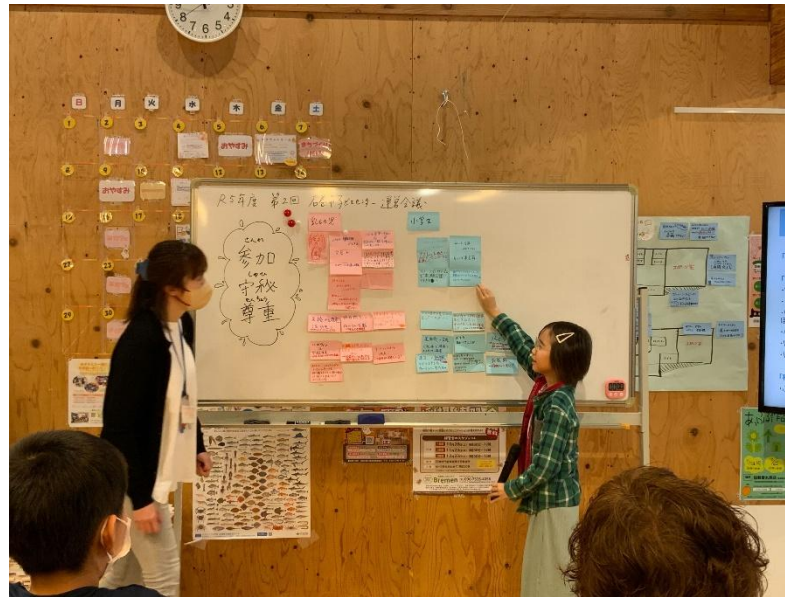
今年度：教育委員会

子ども関係NPO

まちづくり関係団体

社会福祉協議会

商店街



おとなと話す
のって楽しい
ことが分かった

おとながこんなに
話をきいてくれて
びっくりした

大人だけだったら予算や体制、効率などで運営を考えてしまうかもしれない。

児童館ガイドライン：「子どもの意見を尊重し、その最善の利益が優先して考慮されるよう」

子どもまちづくり クラブ

運営や事業に子どもの声を活かす。子どもがアクションを起こし、
子どもの声を社会に発信する、センターの核となる事業



小学5年生～高校生世代
月1, 2回 土曜日午後
子どもたちが地域の一員として、
まちの課題、活性化に取り組ん
でいます。今年度は「SNSで石
巻の魅力発信」がテーマ

中心市街地活
性化

いしのまき
ハロウィン



石巻のいいところを知ってもら
える動画を作っています！
観光客が増えて、にぎやかにな
り、助け合いがしやすくなること
を目的に頑張っています。
※らいつYouTubeより

商店街

地域の
神社

近くの
パン屋
さん



子どもたちによるまちづくりへの意見表明 & 反映

まきトーーーク（こどもまちづくり意見交換会）

2022年度はSDG s の目標 11「住み続けられるまちづくりを」をテーマに
子どもたちでおしゃべり。 →市長提言の機会

らいつのような
「交流もできて、一人でゆったり
できる場も大事」
「戻ってこれる場所」

まちづくりクラブがプロジェク
トとして取り組む
「自分たちで居場所づくり」

石巻に児童館を増やして、
身近なところに遊び場がほ
しい

既存の施設を利用した子ど
もの居場所づくり
「移動型児童館事業」



①こどもたちがまちの
ことについて気軽に話
せるワークショップ

②おとなとこどもの
意見交換・ブラッ
シュアップ

③市長提言

④施策反映

移動型児童館 各地の地域資源をつなぎまくれ～

テーマ：こどもの日常の居場所を増やすのだ！

行政
子育て支
援課

社会福祉
協議会
生活支援コー
ディネーター

教育委員会
地域公民館

子ども
会育成
会

孫育て
じじ、
ばば

子育て
パパ・
ママ

プレイ
ワー
カー

ジュニ
アリー
ダー

生涯学
習サー
クル

工作が
得意な
おじ
ちゃん

校長先
生

家庭教
育支援
チーム

放課後
児童ク
ラブ

保育所

スクール
ソーシャ
ルワー
カー

民生委
員児童
委員

主任児
童委員

児童厚
生員



こども
たち



こどもとの居場所づくりが、地域共生社会の機運の醸成・実現につながる！

ご清聴ありがとうございました。



Baby smile